ふくら
第22号
2010・10
江南市国際交流協会
Konan Society for Internationalization

第15回　国際フェスティバル

～見つけてみよう世界のともだち　来て、見て、出会って、世界の輪～

8月22日（日）すいとぴあ江南

２，５００名の市民が会場を訪れ、韓国の芸能「サムルノリ」、南米のダンスをはじめ、各国の人とのおしゃべりコーナー、日本の伝統文化（お茶席体験や能楽）に触れるなど様々なイベントで、多文化交流を楽しみました。また、在住外国人の皆さんが、母国の料理の出店を出し、おいしい料理に参加者の皆さんの笑顔がこぼれていました。

韓国の伝統楽器を使い、民族衣装を着た奏者達が力強く「サムルノリ」を披露しました。

南米にルーツをもつ子どもたちが、楽しいダンスを見せてくれました。

外国をもっとよく知ろうと企画したお国自慢コーナーでは、様々な国の人たちと来場者が会話を楽しみました。

折り紙や押し花、などのものつくり体験では、子どもたちも楽しく参加しました。

フレンドシップ国の子どもたちに贈る絵には200点の応募があり、当日展示を行いました。後日現地に送付いたします。

協会で国際交流ボランティアとして、長年熱心に活躍された皆さんへの表彰式も行いました。

当日は、多くの外国人の市民も訪れたほか、90名の中高生ボランティアが参加者への案内など頑張りました。

2010年度　総会

栗本会長

5月22日(土)　江南市民文化会館

総会後の報告会では、交流・共生活動が盛んになり、協会の事業が年々増加しているなか、参加者に活動の様子を知ってもらうため、ボランティアの代表の皆さんが、それぞれの活動について、映像を交えて紹介をしました。

報告会のようす

また、その後の交流会では外国人市民の皆さんが腕によりをかけて作ったブラジルやペルーの料理、タイカレーやトムヤムクンなどを楽しみながら、参加者の皆さんが交流を深めたほか、外国人市民の生活支援のため、バザーを開催し、多くの方から協力をいただきました。

外国人のための公共施設見学会

6月23日(水)

地域に住む外国人を対象に、保健センターや消防署、環境美化センターなどを訪れ、職員から施設の利用方法などを説明してもらいました。「消防署で、119のかけ方を教えてもらえ、安心した」、「自分たちの出したゴミがどのように処理されているかよくわかった」などの感想が聞かれました。

国際交流クッキング教室

6月27日(日)フィリピン家庭料理教室

フィリピン出身の山中ルースさんの指導で、現地の家庭でよく食べられている春巻やおかゆなどを作りました。

試食をしながら、講師の方から現地の暮らしなどを聞き、フィリピンへの理解を深めました。

国際理解講座　マカオ&バングラデシュ

7月10日(土)江南市民文化会館

協会が交流を続けているマカオ大学の学生で、協会ボランティア宅にホームステイ中の４名とバングラデシュ出身のルーシーさんを迎え、国際理解講座を開催しました。講座では、マカオ大学の学生たちが、大学の授業で学んでいる日本語で、多くの世界遺産があるマカオの文化と歴史を紹介するとともに、ルーシーさんが、母国の暮らしや食文化など映像を交えながら紹介し、一週間かけて盛大に行われる結婚式の様子など、ユーモアを交えて講演をされました。

マカオ大学の学生たち

サリーを着せてもらいました

ふくらの家のだより ～日本語特別支援教室から～

ふくらの家では、不況のために失業した外国の人たちの再就職を支援するために、月～金曜日まで日本語特別支援教室を開催しています。

現在、中国、パキスタン、ネパール、カンボジア、フィリピン、カナダ、ブラジルなどの方が参加し、とても国際色が豊かな教室になっています。就職活動に向けての面接や履歴書を書く練習では、真剣に取り組む姿勢が伝わってきます。買い物など日常会話の練習では、上手に言えると自然に周りから拍手が起こります。また、七夕やお月見など、日本の行事を紹介するときには、「それぞれの国ではどうか」と教えあうのも楽しみです。ママさんクラスでは、一緒に来る子どもたちもふくらの家にすっかり慣れて、ママが勉強をしている間に、本を読んだり、ひらがなの練習もすることもあります。また、毎月１回おもに料理づくりを通して、外国人の皆さんとお互いの文化や習慣を紹介しあうほか、地域の情報を交換するなど交流を深めています。参加を希望される方は、ぜひお問合せください。（M.M）

子ども塾

国際交流協会では、外国人の子どもたちへの放課後学習支援活動「子ども塾」を平成１８年度から行っています。日本語学習の支援とともに、子どもたちへ文化や習慣を伝える活動も行っています。

防犯教室　７月６日（火）50名

愛知県警防犯チーム「のぞみ」、江南警察署の協力により、子ども塾の参加者・その保護者たちが、児童が犯罪に巻き込まれないよう、寸劇やクイズを通して学びました。

日本に来て間もないため、生活に不慣れな子どもたちも多く参加し、真剣な表情で聞いていました。

校外学習会　７月２５日（日）９０名

皆が楽しみにしている校外学習会を一宮市地域文化広場で行いました。

保護者とともにバーベキューで親睦を図ったり、万華鏡づくりやプラネタリウムを観賞するなど楽しい１日を過ごしました。また、８月には、浴衣を着て、古知野の盆おどりにも参加をしました。

ようこそKONANへ！

①江南市の印象
②趣味・特技　③コメント

タム　アルバート コック ホ さん
（カナダ出身）
①穏やかで住みやすいまち
②ゴルフ･お笑い番組を観ること
③日本の文化を勉強したり､旅行をしたりしたいです。

サミーナさん（パキスタン出身）
①優しい人が多い
②インドのテレビ番組を観ること
③もっと日本語を勉強して､車の免許を取って､いろいろなところへ買い物へいきたいです。

ウン ソワナリさん（カンボジア出身）
①フラワーパークやすいとぴあ江南等、きれいなところが多い
②バトミントンをすること
③カンボジアのことを多くの人たちに話をして交流をしたいです。

INFORMATION

賛助会員を募集します。

江南市国際交流協会（KSI）では、国際交流、多文化共生に関心のある方のご入会をお待ちしております。

●入会資格

本協会の趣旨にご賛同いただける個人・法人・団体（市外の方も可）

●賛助会費（年額）

個人	1口	2,000円
法人	1口	10,000円
団体	1口	5,000円

※1口以上何口でも可

●申込方法

直接、協会事務局へお越しいただくか、電話でお問い合わせください。国籍は問いません。

ボランティアを募集します。

江南市国際交流協会（KSI）では次のようなサポート活動に興味のある方、又ご協力いただける方の登録を随時受け付けます。

- **●日本語教室ボランティア**
- **●外国人児童学習支援ボランティア**
- **●通訳・翻訳ボランティア**
- **●事業ボランティア**
  （国際交流フェスティバルなどイベントの準備や運営）
- ●広報・情報誌・PR活動
- ●クッキング教室ボランティア
- ●ホームステイ受入れ

日本語教室の場所

……月曜日教室……

江南市老人福祉センター
江南市中央コミュニティ・センター

江南市古知野町宮裏121番地
TEL 0587（54）9300

毎週月曜日
19時～21時

……日曜日教室……

宮田地区学習等供用施設

江南市後飛保町平野75-1
TEL 0587（57）0400

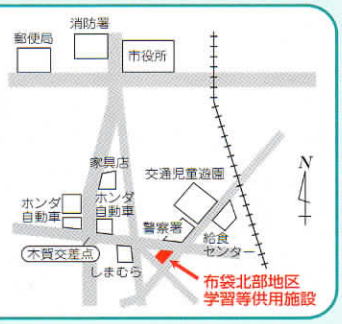
毎週日曜日
13時～15時

……金曜日教室……

江南市立
布袋北部地区
学習等供用施設

江南市木賀町新開278番地
TEL 0587（54）5535

毎週金曜日
19時～21時



江南市の外国人登録者数（2010年9月末現在）

合計（人）	男（人）	女（人）
1,748	800	948

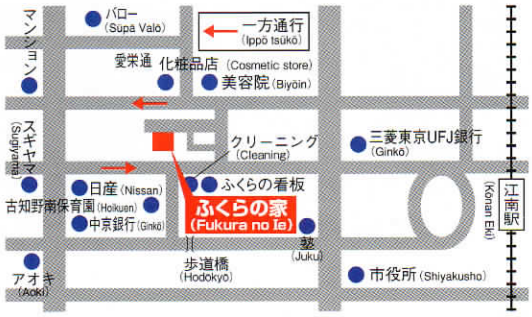
江南市の人口：101,820人 うち**国籍別登録人数**：
ブラジル646人、フィリピン318人、中国308人
韓国・朝鮮215人、ペルー94人など　37カ国

ふくら　江南市国際交流協会ニュース

2010年10月発行　発行:江南市国際交流協会
〒483-8701　江南市赤童子町大堀90
江南市役所　教育委員会生涯学習課
TEL(0587)54-1111　FAX(0587)56-5517

国際交流協会のホームページ
http://konansi.web.infoseek.co.jp/
江南市国際交流協会　検索
★ふくらの家のブログも掲載しています。

ふくらの家での活動

ふくらの家は、子ども塾をはじめ、中学生への国際理解講座、在住外国人の生活相談、市民への外国語講座など在住外国人と市民とのふれあいの場として活用されています。ぜひお立ち寄りください。
（江南市古知野町古渡142-2　電話 0587-56-7390
Eメール　fukura@feel.ocn.ne.jp）

ふくらの家 ご案内図